

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 日

事業所名 児童療育教室 らふいん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		1	・必要な物以外は教室内に置かないようにしています。 ・運動時は机を定位置に置くように片付けをし広さを確保して行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	2		3	・必要な物以外は教室内に置かないようにしています。 ・運動時は机を定位置に置くように片付けをし広さを確保して行っています。	個別対応が必要な児童が複数名いた場合には配置的に難しいところがあり、職員人数が増える事できめ細かな支援ができるのではないかと考えます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		2	・事務所は2Fですがエレベーターが使用できます。	・事業所は2階にあり、エレベーターでの昇降可能。トイレは通常使用となっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		1	・都度話し合いを行い、改善すべきところを見直しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1		・保護者の意見等から話し合い改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		4		・第三者からの評価は行っていません。評価を参考にし、業務改善をしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・コロナ禍ということもあり、ほとんどの研修がオンラインでの研修になっていますが積極的に参加しています。	・外部で受けた研修を他の職員に研修内容を提供し学ぶ機会を作り、全職員の質の向上に繋がっていきたいと思います。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		1	・全職員で分析をし、計画書の作成、見直しを行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			・アセスメントシートを作成し、状況把握が出来るようにしている。日誌にも書き留めています。	定期的に検査用紙を用いて状況を図っていく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・それぞれ担当を決め、職員で意見を出し合い行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・毎月プログラム内容を変え、飽きないように工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			・時間割を設定し休日等には余暇活動等を取り入れています。	いろいろな体験を通して経験をしていく事を目的として設定しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・状況に応じて個別支援を行い、集団活動がスムーズにできるよう支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・当日利用児童の状況を振り返り支援方法の確認をし、役割を決めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・職員間で振り返り話し合った後、支援日誌等記録を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・児童の状況、状態を振り返り支援日誌へ記入し支援の改善に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			・支援日誌を元にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			・時間割でプログラムが決まっている為、複数の課題が組み込まれています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			・学校からの年間行事予定の把握、変更時の連絡等をもらい、学校からのメール配信も確認し行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		・アセスメントの際に主治医の情報を頂き対応時のフローを作成し連絡体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		・直接園から情報が共有できない時は保護者や相談員さんから情報を提供してもらっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1		・まだ対象児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	オンライン研修での参加が主になっていますが、参加しています。	・研修内容に適した職員が参加できるようにしていきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		・コロナ禍ということもあり交流ができていません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1		4		・体調面から職員の欠勤がでてしまい、コロナ禍ということもあり参加ができていません。予防対策などをしっかり行い参加できるようにしていきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・送迎の際に保護者への申し送りをしており、配慮したいことなどはLINEを使用し伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	3		・助言を行うことはあるが、具体的な支援が行えていません。 今後、どのように支援ができるのかを検討し実践していきたいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・疑問等あればその都度説明できることを伝えていきます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		・定期的ではないですが、その都度行っています。 ・相談などあれば適切な助言ができるように他職員の意見も聞きながら行っています。	・事業所側からもアプローチし、気軽に相談できるようにしていきたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		4		・コロナ禍ということもあり、保護者会の開催が難しい状況です。 今後の支援として、どのように開催できるのかを検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・事務所内に苦情箱を設置し、苦情受付機関の情報も提供しています。	・気軽に相談できるような雰囲気づくりも心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		ホームページを開いています。	定期的にホームページで発信していきたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	5			・個人情報は施錠できる書庫へ保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・状況や状態を見ながら別室で対応する等配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3		・コロナ禍ということもあり行事等を開催することが難しく図れていない現状です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			・新しい感染症を加えて、マニュアルを作成しています。	保護者への周知という点においては、まだ出ていない部分があるので改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			・避難訓練、防災訓練の実施を年2回予定しています。訓練の様子はホームページ等で公開していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		・オンラインでの研修が主になりましたが研修に参加しています。	全職員が研修を受けられるようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	1	該当者はないですが、必要な場合は説明をしています。	・身体拘束が必要な利用児童はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・医師からの指示書はないが、事前に保護者よりアレルギーの有無を聞いています。 ・アセスメントにて確認を行い、全職員で周知しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	2	支援終了後の振り返り、支援日誌への記入を行っています。	・事例集を作成し共有していきます。